



「よく調べてきましたね。この仕事は…」2年生の授業

どうあればよいかを中心に研究を進めてきた。

① 目的意識Ⅱ望ましい進路の選択を
目指す心情・態度・意欲ととらえた。
(資料2 参照)

ア 目的意識は、自己理解・情報理
解・進路設計から進路の選択へ、
そして、将来の自己実現へ至るま
でのすべてにかかわるものである。
イ これは、継続的な指導の中で、
意図的に育てられるものである。

② 目的意識の育成をねらって、「私
の進路」カードを一人一人に持たせ
三年間定期的に記入させる。(資料
3 参照)

③ 自校化した進路発達課題の学年別
一覧表及び主題配当表の作成

進路発達課題を自校化して一覧表に
し、授業の目安とした。

三か年の授業の継続が目的意識の育
成に欠かせない条件となることから、
指導目標の目安とした試案である。こ
れは、進路発達課題(前掲の注参照)
の具体化を図ったもので、個々の生徒
の発達段階に合わせて指導すること
をねらって作成した(資料4参照)

① 進路発達課題一覧表を指導の目安
とする。

ア 学年に応じた発達課題を指導目
標として書き替え、系統的に配列
する。

イ これを学年目標や学期ごとの目
標と関連づける。

ウ 三か年間四十二項目の主題を設
定し、配列する。

② 学年別主題配当表により、内容、
時期及び時間を明確にする。

ア 主題ごとに実施月日を明確にす
る。

イ 創意の時間にも進路指導を設け
て時間を確保する。

ウ 一年十三時間、二年十五時間、
三年十四時間の指導時間数とする。

(6) 学年別指導案の作成と授業の実践
学年別主題配当表に基づいて指導案
を作成し、研究授業を行いながら指導
の改善を図ってきた。

① 全学年の指導案を作成して指導の
目安とする。

② 毎時間一〜二例の資料を添えて活
用を図る。

資料4 進路発達課題 学年段階一覧表 (試案 第1学年の例)

学年	学年目標	学期目標	発達課題	学年番号	主題配列
1 年	将来の進路希望 の形成	1 将来につい ての関心の 高揚	1 夢や希望を持たせ、人生のプロセスを簡略に描く。	1	私達の将来の希望
			2 身近な人の例から多様な進路があることを知る。	2	私達の将来の希望
	個性や特性への 関心の高揚と基 本的知識の獲得	2 職業の理解 と自己の特 性の把握の 仕方	3 進路の意味を理解し、学習内容を知る。	3	進路の学習
4 身近な人の例を基に、職業の違いを知る。			4	働く人々のすがた	
		5 職業による仕事の内容の違いと希望職業の特色を知る。	5	働く人々のすがた	
		6 何のために働くかを考え、職業人の取り組みや考えを知る。	6	働く人々の仕事と考え	
		7 友人や身近な人の個性を知る。	7	人と個性	
		8 自分の特色を知り、進路とのかかわりを考える。	8	自分の特色 1	
		9 自己理解の内容や方法を知り、簡単な自己分析をする。	9	自分の特色 2	
	3 自己の特性 に基づく簡 略な進路設 定		10 自分の特色をまとめ、生かす心構えを持つ。	10	進路計画の必要性
11 自分の進路希望を確かめ、計画の必要性を理解する。			11	進路計画の立て方	
12 進路計画の必要事項や立て方を知る。			12	進路計画を立てよう	
13 簡略な進路計画を立て、実現の努力をする。			13	進路計画を立てよう	